

ロシア・中央アジア地域等貿易投資促進事業

令和3年度概算要求額 4.5億円（3.3億円）

事業の内容

事業目的・概要

ロシア・中央アジア地域等との経済協力関係を更に深化させることは、資源確保・エネルギー安全保障等の観点から重要であるだけでなく、新市場の開拓にも大いに寄与します。令和3年度は以下の取組を強化します。

- (1)ロシア地域貿易投資促進事業においては、2016年5月の日露首脳会談で、安倍総理が提示した8項目の「協力プラン」の具体化等のため日露貿易投資促進機構が実施する日露企業等へのビジネス関連情報の提供やフォーラム開催、ビジネスマッチング・コンサルティング事業、ネットワーク形成を支援し、(2)中央アジア地域等貿易投資促進事業では、中央アジア地域等と投資環境の整備を目的としたネットワークを活用した情報収集フォーラム開催、ビジネスマッチング等を実施します。
- 特に令和3年度はこれまでの取組に加え、新型コロナウイルスの感染症対策に着目し、ロシア・中央アジア地域において、従来の取組に加えて医療分野やデジタル分野におけるビジネスマッチング、ネットワーク形成等を拡充していき、コロナ禍を踏まえた日露経済協力の深化を図ります。具体的には、医療分野/デジタル分野におけるフォーラム、セミナーの開催等を実施します。

成果目標

- 平成17年度からの事業であり、日露両国間の信頼醸成促進及び貿易・投資関係の更なる発展により、我が国からロシア・中央アジア地域等への中小企業を始めとする日系企業進出数の増加を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



※平成15年1月の首脳合意等に基づき設置（事務局：一般社団法人ロシアNIS貿易会）

事業イメージ

(1) ロシア地域貿易投資促進事業

(例) 東方経済フォーラムにて日露ビジネス対話を開催

日 時：令和元年9月5日（於ウラジオストク）

参加者：世耕経済産業大臣、
オレシュキン経済発展大臣
他、日露双方から約230名

概 要：「海と陸の大動脈がもたらす新たな 極東開発」をテーマに、日露双方の政府及び産業界の代表が、今後の可能性を議論し、8項目の「協力プラン」の成果を確認した。



(1)(2) コロナ禍を踏まえた医療/デジタル分野のビジネスマッチング等

(例) ロシア・中央アジア地域における医療分野/デジタル分野のフォーラムの開催

概 要：新型コロナウイルスの感染症対策に着目し、ロシア・中央アジア地域で、医療分野及びデジタル分野におけるフォーラムを開催し、コロナ対策を踏まえた日露経済協力の深化を図る。



※写真はイメージ。